

一瞬で高単価メニューが
さらっと売れ出す

最強のマインドセット
お金に愛される人の考え方

vo.2

パート6：自分自身が
お金を先払いした後
利益を回収するという
考え方をもち

広告や新しいメニューの導入を
検討しているときに
『お金が入ったらやろう』
とつい考えてしまいませんか？

まず、
自分でビジネスを軌道にのせて
回していくには
【先行投資】が必要ということを
肝に銘じてください。



先行投資とは

- 商品を仕入れる
- 店舗の内装をしたり備品を購入する
- 広告費を払って広告する
- 講習会に参加して技術を磨く
- コンサルやコーチをつけて利益を上げる、など

ビジネスに『お金が入ったらやろう』は
NGです。

お金が入ってくる仕組みを作るために
投資するという思考を癖づけましょう。

パート7:
実はお金は、
【ただの数字】

小さい頃から
お小遣いやお年玉をもらっても
無駄遣いせず、貯金をする
「えらい!」とほめられがちで
育った私たち。



通帳の預金の数字が
増えるのが喜びで
減るのは恐怖!

…ではないですか?

The background image shows a Japanese bank passbook with transaction records. The records are organized into columns for date, transaction type, and amount. The amounts are formatted with '+' for deposits and '-' for withdrawals, followed by the numerical value and a series of '+' or '-' signs. The passbook is open, showing two pages.

DATE	TYPE	AMOUNT
16/08/10	CO	++++++1,000.00++
21/08/10	X2	-----930.00 ++
21/08/10	FE	-----20.00 ++
31/08/10	C1	++++++2,000.00+++
31/08/10	X2	-----1,550.00 +++
31/08/10	FE	-----20.00 +++
11/09/10	C1	++++++3,000.00++++
11/09/10	X2	-----2,200.00 ++++
11/09/10	FE	-----20.00 ++++
19/09/10	X2	-----1,200.00 ++++
19/09/10	FE	-----20.00 ++++
25/09/10	CD	++++++4,000.00++++

もちろん預金高が増えるのは
悪いことではないのですが、
通帳の数字が増えることが
『最終目的』に
なってしまっていないですか？



実はお金は、
【ただの数字】です。

ただの数字ではお腹を満たすことも
暑さや寒さを凌ぐこともできません。

このただの数字を、食料品と交換したり
衣服と交換することで
初めて価値化できます。



価値があるものと交換することなく
通帳の数字だけを増やすことに
執着し過ぎると、
いくらお金があっても
豊かとは言えませんよね？



そうは言っても、使い道がなんでも良いわけではありません。

自分の快樂のため、
例えば毎晩ただただ飲み歩いたり、
パチンコなどのギャンブルに
注ぎ込むのは【浪費】です。



サービスの行き届いたレストランで
心が満たされたり、
旅行で新しい刺激を受けるなど
素晴らしい体験をすることで
気分が満たされ、
パフォーマンスが上がるなら
良いお金の使い方です。



そして、絶対必要なお金の使い方は
投資すること。

お金がお金を稼いでくれるという
意識を持つことが大切です。

投資の中でも自己投資は
確実にお金を増やす
1番簡単な方法です。



お金とはただの数字であり、
それを価値あるものやサービスに
交換するからこそ価値があります。

「お金は使ったらなくなる…」

という思考を

「お金を価値と交換して豊かになる」

「お金を使うと増える」

というポジティブな考え方に変えましょう。



パート8:
節税ばかりに
捉われすぎない。

経営者を悩ませる
原因のひとつといえば
【税金】
ではないでしょうか？



売上げから経費を引いた利益から
約4割を所得税金として
納めることになります。



利益が多ければ
税金もそれに比例して
多く払うことになります。
悩ましいですね。

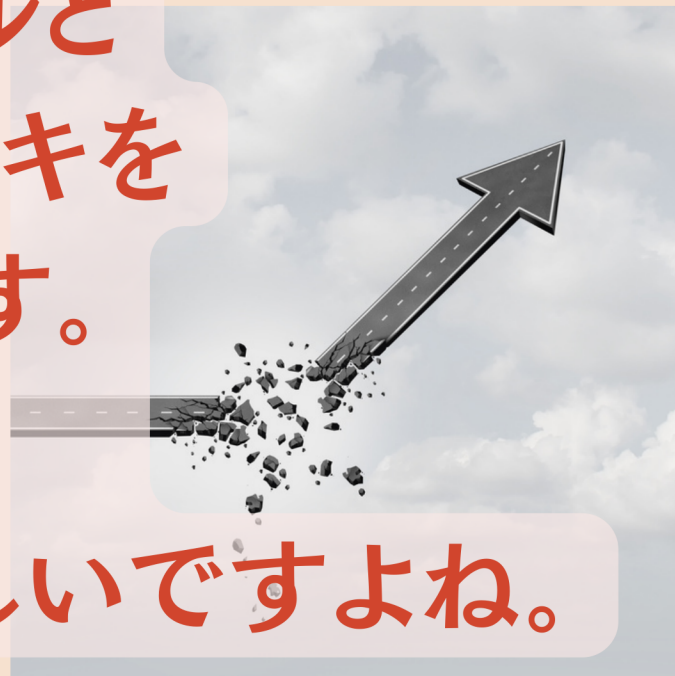


なるべく税金は少なく抑えたいのですが
『税金を払いたくない』という
気持ちが強よ過ぎると
売上げを増やす方向に
進みにくくなります。



利益を出すためのアクセルと
税金を払いたくないブレーキを
同時に踏んでいる状態です。

これでは前に進むのは難しいですね。



また、売上げを計上しないで
税金を減らしたり、
領収書を水増しするのは脱税です。
脱税は違法ですので、
発覚すれば罰則がある上に
信用も失います。



脱税が発覚しなくても
いつも売上げが少なかったり
赤字のビジネスは
いざというときに融資が
受けにくくなります。



融資が受けられたら
勝てる確信がある場面で、
どこの金融機関にも
相手にされない状況では
せっかくのチャンスを
不意にすることになりかねません。



もちろん節税できるところは
しっかり節税をして
利益を残す努力は必要ですが
なるべく税金を払わないように
ということにとらわれ過ぎると、
それなりの結果しか出せません。



生活をしていれば、
税金で成り立っている
教育や医療、警察・消防、ゴミ処理など
公的サービスを
少なからず
受けているはずです。



どうせなら『ありがたい』
という気持ちで納税し、
その分以上に利益を出すことに
注力するほうが、
結果的にお金の流れが大きくなり
利益も増えて豊かな経営ができます。



売上げを上げるための
アクセルを全開にして
お金の流れを大きくするために
「税金を払いたくない」という
ネガティブなブレーキを
一旦解放しましょう。



パート9: お金は汚い？



お金を
『汚いもの』『悪いもの』
『怖いもの』
とっていませんか？

『お金を多く稼ぐことは汚い…』
『お金を使うのは良くない…』
こんなふうに感じてしまうと、
ただただお金はネガティブな
存在になってしまいます。



そうは感じていても、
あなたもお金を稼ぐために働き、
給料や報酬を受け取る時は
嬉しいはずです。



お金に対する
【嫌悪感】と【必要性】という
ふたつの相反する感情が
せめぎ合うことで
しんどくなってしまう。



ではお金をどのようなものと定義と良いのでしょうか？



A collage of various US dollar bills, including \$100 and \$500 bills, floating and falling against a bright blue sky with scattered white clouds. The bills are shown in various orientations, some partially obscured, creating a sense of dynamic movement and abundance.

お金は、
『あなたやあなたの周りの人に豊か
で幸せな状態をもたらすもの』
です。

お金を扱う側に問題があれば、
汚く見えたり怖く感じることも
ありますが、
お金そのものが汚くて悪い
ということではありません。





お金をが集まってくるということは、
あなたがそれだけの価値を提供して
喜ばれているということです。

自然と感謝ができ、
ポジティブな思考の人のところに
人もお金も集まってきます。



価値に見合ったお金をいただくことも
価値に見合ったお金を払うことも
『ありがとう』とポジティブに受け入れ
さらにお金の流れを
大きくしていきましょう。



パート10:
お金が集まる人の
お金の使い方

お金を払うときに、
「あー、お金が減ってしまった…」
「高いなあ…」
「貯金しないといけないのに…」
こんな【ネガティブな感情】に
支配されていませんか？



もちろん前述したように、ギャンブルや身の丈に合わないブランド物を買うなど【浪費】は避けたいですが、

- 生きるために必要なもの

- 自分や自分のビジネスへの投資

- 人のためのもの

などには積極的に使いたいところです。

The background of the slide features a photograph of several people from the chest up, their silhouettes rendered in a light purple color. They are all facing away from the camera, and their arms are raised with their hands open, palms facing forward, in a gesture of celebration or agreement. The background of the photo is a soft, out-of-focus mix of light green and yellow. This image is overlaid on a larger, solid light orange background that covers the entire slide.

そして何より大切なのは、
お金を払うときもポジティブな気分で！
ということです。

美味しいものが食べられて幸せ！
価値があるものと交換できて嬉しい！
こんな素晴らしいことを学べる！
たくさんの人が幸せになる！
など、





ポジティブな気持ちで
お金を送り出すことで、
また必ず【増えて】戻ってきてくれます。

そうすると、あなたがお客様から
お金を受け取るとき、
価値の提供をしているにもかかわらず
『申し訳ない』気分になるということが
払拭されていきます。

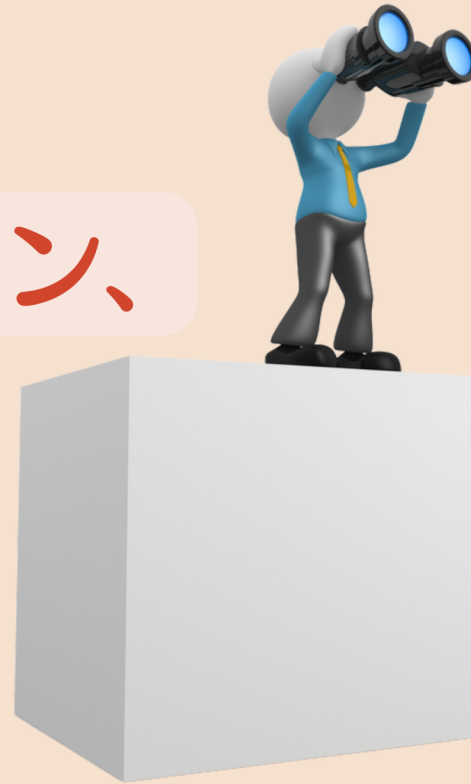
どんなことに使うか、
どんな気分で使うかはとても大切です。
『お金を払うことで、価値あるものと
交換できて幸せ！』
という思考を意識的に
癖づけましょう。



パート11:

お金は目的・ビジョンではなく
手段と考える

あなたの目的やビジョン、
理想の未来は
どんなことですか？



目的やビジョン、理想の未来を
お聞きすると、

「将来1,000万円稼げるようになりたい！」

「1億貯める！」

と理想の収入など

金額をお答えいただくことが多いのですが、

実は、この『お金を稼いだり貯めたり』
というのは
【目的】や【ビジョン】
ではありません。



お金を得ることは、
あなたの【目的】や【ビジョン】を
達成するための
【手段】もしくは【道具】です。



例えば

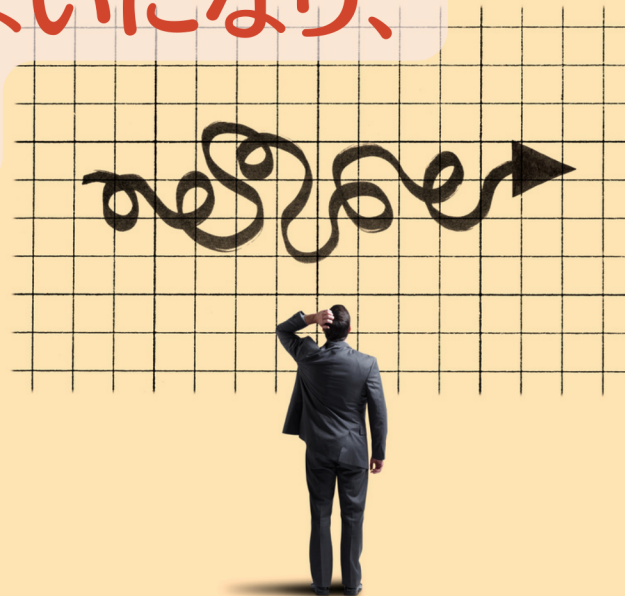
『自分のビジネスの規模を大きくする』とか
『早期リタイアをして海外移住する』という
ビジョンがあるとする、

それを実現するために必要な【手段】が、
お金や時間、人脈などということです。



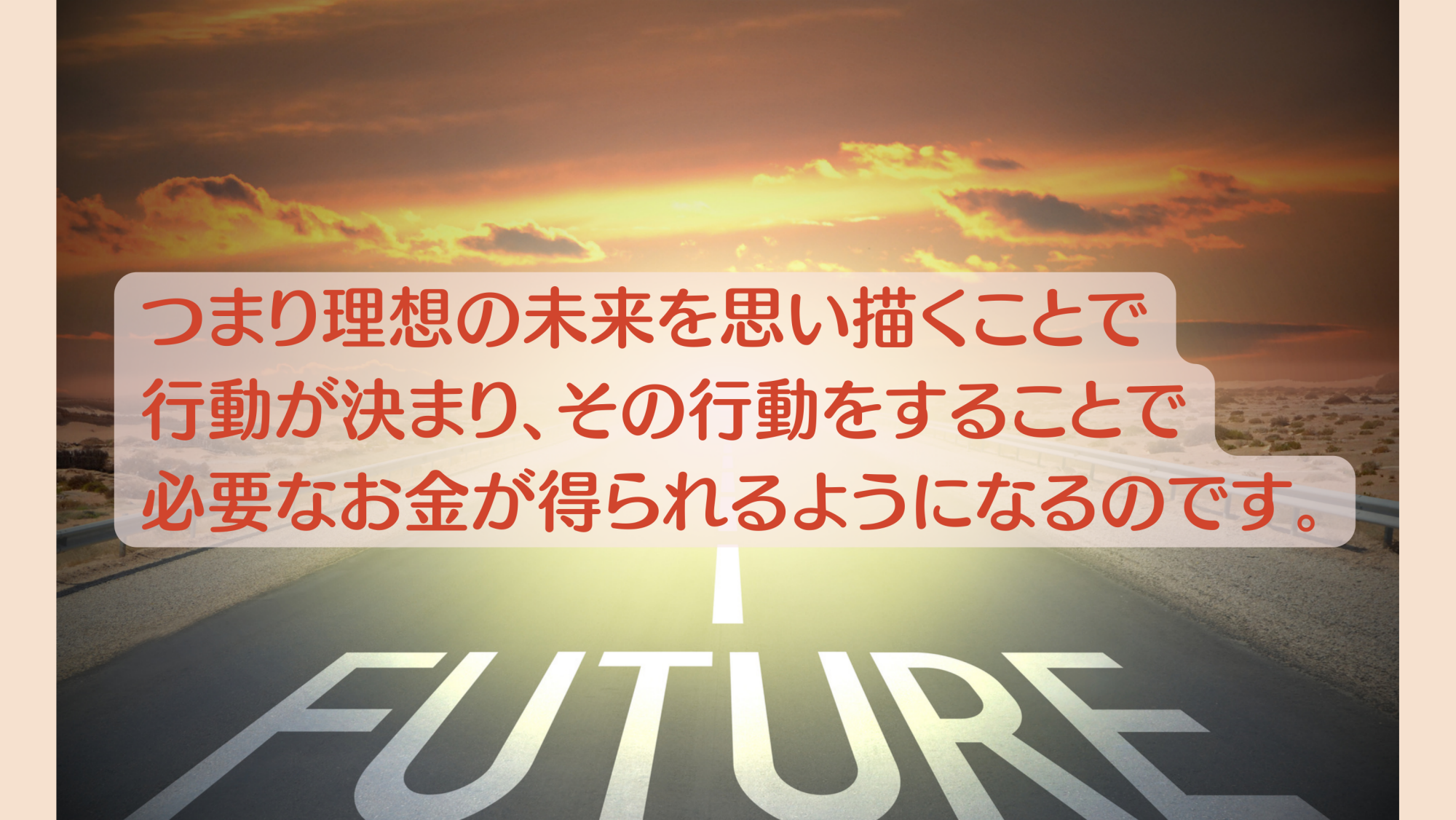
この【手段】のひとつであるお金を、
目的やビジョンに設定すると、
『なぜその額が必要なのか』
ということの根拠があいまいになり、
そこに向かう動機づけが
弱くなってしまいます。

ですので、



『どんな生活や人生にしたいか』
というビジョンや目的を明確にして
それを叶えるための手段として
いくら必要かが見えると、
目標達成の動機付けができ、
目標金額に達する精度が高まります。



A desert landscape at sunset. A road stretches into the distance, with the word "FUTURE" painted in large white letters on the pavement. The sky is filled with orange and yellow clouds, and the sun is low on the horizon. A semi-transparent text box is overlaid on the image.

つまり理想の未来を思い描くことで
行動が決まり、その行動をすることで
必要なお金を得られるようになるのです。

しっかり自分と向き合って、
どんな未来を希望するのか、
どのような人になりたいのか、
【目的】と【ビジョン】を策定し、
それに向かって正しい行動を
見出してください。



いかがでしたか？

このマインドを持つことで、
高単価メニューがさらっと
売れるようになります。

すぐに思考を変えるのが難しければ、
できるところから少しずつ取り入れてください。

気が付けばあなたのステージが上がっています。